

日時・場所：令和2年3月9日（月）10時00分～12時10分 評議会室  
出席者：廣川理事長、青木副理事長、倉茂理事、山根理事、高橋理事、  
上原委員、大日委員、須江委員、築山委員、松田委員  
欠席者：小出委員  
事務局：久保田事務局次長、山田総務課長、辻財務課長、小椋経営企画課長、  
澤村学生・就職支援課長、郡田教務課長、土淵地域連携・研究支援課長、  
山内課長補佐、岡主任主事

## 【審議事項】

### （1）教教分離の実施時期について

廣川理事長および山田総務課長より、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。また、教教分離の実施時期の延期を受け、第3期人事計画の改定について追加で提案があり、原案のとおり承認された。

〔主な質疑・意見等〕

- ・教員の人事は、教員組織である研究院で行うのか。また、制度の周知期間を設けるとのことだが、現在提示している内容を見直して学内の理解を得るとのことか。  
→教員の人事にあたっては、全学の人事委員会では着手の決定を行うこととし、全学的な観点から教員配置の最適化を考えていきたい。ただし、個別の選考の発議は、教育組織である各学部で行う。また、本学においては、教教分離そのものへの反対というより、学内の意識や理解が十分でないとの意見が多かったことから、準備期間において、現在の提示内容を具体的に説明し、理解を得たいと考えている。

### （2）令和2年度計画（案）について

小椋経営企画課長より、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

〔主な質疑・意見等〕

- ・授業料減免の具体的な対応は、決まったのか。また、現在減免を受けている学生で、国の修学支援制度の適用から外れる者は、どれくらい見込まれるのか。  
→具体的な対応については、報告事項4で説明する。また、従前の減免制度の対象となっていた在学生のうち、国の新制度の対象とならない者としては、10数名が見込まれるが、本学で経過措置を設けて対応する。
- ・IR推進室の設置を計画されているが、この組織は、中期計画に掲げられていたIRオフィスのことなのか、それともIRオフィスを設置するための準備組織なのか。また、IRの対象とする分野と人員配置について教えてほしい。  
→この組織は、IRオフィスとして設置するもので、教学関係の課題に取り組む。体制としては、室長と事務職員のみで構成し、分析を専門とする教職員の配置は行わず、必要に応じて学内外の方にアドバイザーとして参画いただく予定である。

### （3）令和2年度予算（案）について

辻財務課長より、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

〔主な質疑・意見等〕

- ・支出における人件費の増加の要因は何か。  
→教員については、助教から講師への昇格や土日における時間外勤務による増加を見込んでいる。職員については、同一労働同一賃金の適用に対応するため、契約職員への期末手当の支給などの処遇改善の影響である。

(4) 学内規程等の改正について

関係各課長より、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案を一部修正のうえ承認された。

【報告事項】

(1) 令和元年度第3四半期までの予算執行状況について

辻財務課長より、資料に基づき報告があった。

〔主な質疑・意見等〕

・受託研究費の減少がみられるが、県や県内の産業界も環境関連事業に注力しており、滋賀県にある公立大学として、もっと「環境」の面を打ち出し、企業との関係を深めるべきである。

→受託研究は、工学部が多いが、全体として昨年度から減少している。研究費獲得のために、教員の研究シーズをより一層社会に公開し、外部からの依頼を増やしていきたい。

(2) 公立大学法人滋賀県立大学理事長選考基準の作成について

山田総務課長より、資料に基づき報告があった。

(3) COC+事業について

高橋地域連携担当理事より、資料に基づき報告があった。

〔主な質疑・意見等〕

・COC+事業の終了に伴い、補助金収入がなくなると思うが、次年度以降の取り組みの財源はどうするのか。この種の活動は、続けていかないと効果が見えないため、継続的に取り組んでいくべきである。

→今まで通りの実施は難しいが、大学独自で予算化し、一部事業を縮小して行っていく。

本学としても、続けることによって効果が定着していくと考えており、継続的に実施していきたい。

・中期インターンシップに参加することで、当該企業への就職につながった学生がいるため、継続的に実施してほしい。また、企業でも新規事業の立ち上げなどが課題になっており、ソーシャル・アントレプレナーコースに興味を持たれる企業も多いのではないかと支援できる面もあり、もっと企業との連携を検討してほしい。

→中期インターンシップは、学生も受け入れ企業も満足度が高く、今後も継続していきたい。本学でも起業の支援に力を入れており、その他の事業についても、地元企業と連携し、積極的に取り組んでいきたい。

(4) 高等教育の修学支援制度と大学独自の支援制度について

澤村学生・就職支援課長より、資料に基づき報告があった。

【資料配布】

(1) 令和元年度卒業・修了予定者の進路内定状況等について

(2) 令和2年度特別選抜試験結果および一般選抜志願状況等について

(3) 令和2年度経営協議会の開催日程について

【その他】

(1) 新型コロナウイルス感染拡大予防にかかる対応について

青木副理事長より、資料に基づき報告があった。

(2) 令和2年度経営協議会委員について

廣川理事長より、報告があった。